



長い春休みが終わり、4月中旬から広場が始まりました。身体も大きくなり、表情もぐんと頼もしくなった子ども達がまた来てくれました。そしてこの春は、第2子の出産ラッシュでもありました。生後2~3か月の赤ちゃんを連れて、懸命に上のお子さんの気持ちにも応えようとしているお母さんの姿には感動させられます。広場では、みんなで赤ちゃんを抱かせていただき「こんなに小さかったのね～」と目を細め、幸せを分けていただいています。赤ちゃんの存在は、私たち大人をハッピーにしてくれますね。幸せのお裾分け、ありがとうございます。

歩くようになると、見える世界が広がるね

2か月ぶりに会ったZくん(1歳3か月)は、テクテク軽やかに歩いていました！ 2月は、立つ姿は見せてくれたけれど、移動は専ら高速ハイハイでした。十分にハイハイの時期を過ごし、歩くようになって、表情にも自信がうかがえます。今日は、ベンチの上に上ったり、トンネルをくぐったり、全身を使って活発に行動するようになりました。

視野が高くなった分、視野に入る世界は立体的になり、興味関心も急速に広がったように思います。



木製の乗り物・・・後ろ向きに乗っている？！



木製の乗り物に、後ろ向きに乗ってるRくん(1歳5か月)の様子を見守っていた1年生は、Rくんの行動を見て、次のような感想を述べていました。

「はじめは、前を向いて乗ってました。そして、少し考えると、後ろ向きに乗り換えて、手すりに手を掛けて、足で蹴りながら走り出しました。きっと、後ろ向きの方が、手すりの位置が丁度よいと思って、座りなおしたのだと思います」

子どもは、自分で考えて、より良く(より楽しく)自分で決めて行動しているという“有能さ(賢さ)”を語ってくれまし

た。

Rくんは、向きを間違えたのではなく、より良い向きを考えて、座り直していたのです。

大人が子どもの姿、行動をどのように見て理解するかによって、子どもへの眼差しと掛ける言葉が違ってきますね。

お話の世界で遊んだよ



4月に入学した1年生が、広場に参加しています。絵本「ぞうくんのさんぽ」に合わせて、木製のぞう・かば・わに・かめを動かして演じて見せています。Yちゃん(2歳4か月)も、動物たちを手にとってお話の世界で遊びました。

先を予想できる繰り返しのお話が大好きな年齢ですね。



先取りせずに“待つ、子育て”

滑り台をしていると、後ろから他の友達が来ること、ありますね。ついつい大人は「お友達が来たから、早く滑ろうね」と、子どもの気付きや判断、行動を先取りして声を掛けてしまいがちです。

しかし、子どもは自分で感じて自分で考え、行動しています。そこを待ってみると、子どもの気付きや判断が見えてきます。

「お友達が来たから、先に滑ってくれたのね」「ありがとう、Zくん」



Sちゃんと象さんのストーリー



1年生の学生と2人で、テーブルに料理を広げてごっこ遊びをしていたSちゃん(2歳2か月)。いいえ、3人でした。象さんもテーブルについていました。

その後、木製の汽車を持ってきて、象さんを乗せてお出掛けです。ここから私も参加しました。(そのため、写真が撮れませんでした。)Sちゃんが滑り台に上ったので、私は象さんを持って、下から「よいしょ、よいしょ」と登らせました。Sちゃんは滑り台の上で両手を広げて象さんが登ってくるのを待ち、手が届くとニコニコ嬉しそう!そして、象さんを滑らせてあげて、その後自分も滑る・・・という遊びをし

ばらく楽しみました。

この遊びのピークを越えた頃、私は次の展開を考えました。小さなバックを持ってきて「お弁当を持って象さんと出掛けようか?」

するとSちゃんは、テーブルの上にあったお皿にコップ、スプーン、おにぎり・・・をバッグいっぱい詰めて、汽車に象さん親子を乗せました。「どこに行く?」「山?」と聞くと、ニコニコしています。言葉で返ってなくても、Sちゃんと私の対話は成立しています。



山に到着すると、バッグの中味を全部出して、ピクニックのようです。きっと、ご家族での経験があったのでしょうか。そこには、小さなボールがたくさん転がっていましたので「Sちゃん、リンゴが落ちていたよ」「あっ、みかんもあった！」と、ボールを拾って渡すと、大事そうにバッグに入れ、果物拾いが始まりました。たくさんのお土産が入ったバッグを汽車の手すりに掛けて、大満足！



続いて、山の頂上に登って、両手でボールをキャッチする遊びが始まりました。

Sちゃんと象さんのごっこ遊びが、一つのストーリーになっていて、それを楽しめました。2歳になると、子どもの楽しんでいることを共に楽しみつつ、ちょっと「何か」を投げかけてみることで、次の展開も生まれていきますね。

“ムキムキ、がマイブーム！”



Mちゃん(1歳8か月)は、クレヨンに巻いてある紙をムキムキするのがマイブームのようです。指先を器用に使って、少しずつ紙をむいて、お母さんの手に渡しています。お母さんも、Mちゃんの興味関心を大切に、ゆったりと見守っていました。やりたいことを試せるMちゃんは、とても安心した表情ですね。

このような興味が見られたら、このような遊びを十分できるように、(はがし易く、貼っても支障がない壁や家具)にシールや付箋紙を貼っておくと、「はがす」という遊びに夢中になったりしますよ。

♪音♪を楽しむ

子どもの耳に届けたい音は、どんな音ですか？

「やさしいお母さんの声」「頼もしいお父さんの声」「小鳥のさえずり」「風が葉っぱを揺らす音」それから・・・

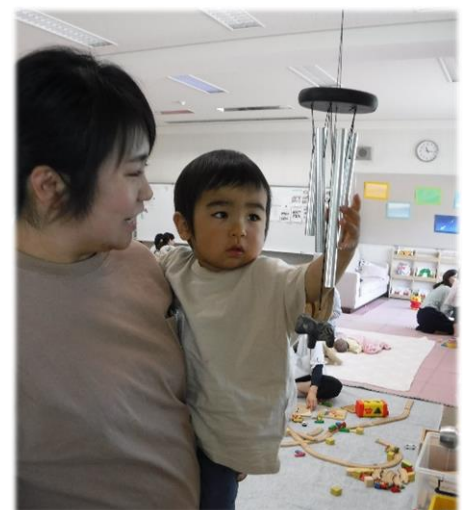
子どもの耳に届けたくない音は、どんな音ですか？「機械から出る音」「乱暴な言葉」それから・・・



♪ピアノの音に耳を傾け



棒を使って ♪ザック ザック



♪チンチロリ～ン

どの場面も、一緒に感じてくれる大人が隣にいますね。「共感してくれる人」の存在は大きいですね。

模倣する1歳児たち と ごっこ遊びが多くなる2歳児たち



Aくん（1歳3か月）とZくん（1歳3か月）一緒に遊んでいるようですが、実はそれぞれが「食べる真似」をして遊んでいます。そして、お互いがしていることをじっと見て、見ることを楽しみ、見ることで学んでいます。



そして、数日後の広場では、Aくんがフォークでチェリングをすくって食べる真似をして遊んでいます。

チェリングは、見立て遊びに大活躍！ しかし、細かいものですので飲み込んだら大変です。広場では、数個つないで一塊にして遊んでいます。



Yくん（2歳5か月）は、山下先生と長時間2人で遊んでいました。

この写真は、丁度バースデーケーキのろうそくを吹き消しているところです。自分が見たこと、経験したことを再現して楽しめる時期。同じ世界を共有してくれる大人の存在は、人間関係の基礎になりますね。

2歳児は、友達を意識して「一緒に遊ぶ」ようになります。まだうまく言葉では伝えられませんが、自分の意思是っきりあります。大人が気持ちを汲み取って代弁してあげることも必要になりますね。

丁寧に共感してもらえることで、相手の気持ちに気付くことができるようになります。この共感がないと、いつまでも自分の主張をつづけたりします。



Yちゃん（2歳4か月）とMちゃん（2歳3か月）は、隣でお料理を始めました。お互いがしていることを見ながら、使いたい鍋が重なってしまいました。2人とも大きな声をあげて、自分が使いたいことを主張しています。

「自己主張できる」この姿に、大きな喜びを感じます。「譲る」「順番」「一緒に」は、まだまだ先の課題です。この年齢のこの時期は「自分の要求が満たされ、満足すること」が大切です。だから、同じおもちゃが複数必要なのです。

この土台がしっかりあって「譲る」「順番」「一緒に」が出来るようになるのです。

この日は、他の鍋を提案することでお互い満足することが出来ました。



赤ちゃんたちとお母さんの語らい



赤ちゃんたちがゴローンと横になりながら、お互いをキョロキョロ見たり、うつ伏せになって興味があるものに手を伸ばしたり、いつの間にか眠ってしまったり・・・。

その赤ちゃんたちを囲んで、お母さん方の会話が弾みます。「一人目と二人目は、どうしてこんなに違うのでしょうかね?」「もうすぐ寝返りできそうですね!」お互いの成長を喜び楽しい会話をしながら、親がリラックスした時間を過ごしていると、子どもも安心しているようですね。

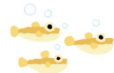


わらべうた遊び ー触れ合い・見つめ合いのときー



片付けの時間になると、スカーフを取りにいてユラユラし始める Mちゃん(2歳3か月)。次に、わらべうた遊びが始まることを見通して待っていてくれる姿に嬉しくなります。一つのわらべうたを2～3回繰り返して楽しむのですが、「もう1回!」と声が掛かるとリクエストに応じてもう1回します。単純な歌の繰り返しですが、それが子ども達に安心感と楽しさをもたらします。人と向かい合って、目と目を合わせてお互いの呼吸を感じながらできると良いですね。齋藤先生は、Hくん(2歳1か月)の頬に触れながら遊んでいます。するとHくんは、次にお母さんのところに行き、同じように求めました。

赤ちゃんたちには上から大きなスカーフで風を感じてもらっています。お母さんの優しい歌声と温かな手のぬくもりが、何よりも栄養ですね。



初めてのクレヨン



先日の広場で「初めてのクレヨン」が話題になりました。そこで、ドイツ製のSTOCKMAR（シュトックマー）の「みつろうくれよん」（8色ブロック）と、日本製の「ベビーコロール」を用意してみました。

みつろうくれよんの魅力は、「重ねても透明感のある色合い」「食品基準もクリアした安心材料」「天然みつろうの甘い香り」「折れ

にくく、長持ちする素材」「どの色同士も調和する響きを持つ、ゲーテの色彩論に基づいた色構成」とのこと。

ベビーコロールは、握りやすい形と、中が空洞なのでSちゃんのように重ねて遊ぶこともできるとのこと。

是非、広場でお試しあれ！



子どものあしあと（記録）を共有しましょう

広場では、参加してくれているお子さんごとに、その日の写真や学生の記録をファイルしています。学生・保護者・教員で、子どもの気持ちをどのように汲み取ったのか、子どもの中にどのような育ちを感じたのか、みんなで共有したいと考えています。いつでもご自由にご覧ください。そして、保護者の感じ方やご家庭の様子なども書き込んでいただくと、嬉しいです。



子どもを中心に、その育ちを大切に見守る仲間として、このファイルを活用しましょう。

また、学生の学びへのご協力に感謝申し上げます。



「ママと赤ちゃんのからだの相談日」

「ママと赤ちゃんのからだの相談日」には、須川診療所の看護師さんと栄養士さんが、子どもたちと遊びながら、保護者のみなさんとおしゃべりしながら、相談にお応えします。お子さんの健康相談・栄養相談、そして、ご自身のこと、ご家族のこと……。病院に行くまでもないけど、気になっている小さな不安を小さなうちに相談してみましょ。お気軽にお声がけください。

開催日 : 5月28日（火）

6月7日（金）

今後も不定期に開催します。

日程は、おたよりや保育室の掲示でお知らせします。



梅シロップを作ろう！

今年の梅も大きくなりそうだ！ 毎週、保育室前の梅の木を見上げて、今年の梅シロップ作りを楽しみにしている私。昨年度、大胆に枝を落としてもらったので、木が元気になり、実に栄養がいつているように感じています。

今年は、6月中旬から下旬頃、収穫時期を迎えるだろうと予想しています。お天気の良い日を見計って、梅の実の収穫&梅シロップ作りを楽しみましょう。



<昨年度の収穫の様子>

文責 奥田美由紀

今後の予定

5月21日(火)	6月4日(火)	7月2日(火) 休み
24日(金) 休み	7日(金)	5日(金)
28日(火)	11日(火)	9日(火)
31日(金) 休み	14日(金) 休み	12日(金)
	18日(火)	16日(火)
	21日(金) 休み	19日(金)
	25日(火)	23日(火)
	28日(金) 休み	26日(金)
		30日(火)



桜の聖母短期大学

🏠 福島市花園町 3-6

☎ 024-534-7137

(代表)

